

【特徴】

他の甲虫類には比べて、体が大きく強い。昆虫の王様」と言われることが多い。夜行性のため、夏間には庭の中に入りか、食ひん坊のため、夏間でも樹液のお場所をお訪ねすることもある。



7月末頃に発生し、コブカラムシととも子供たちから人気を集めている。昆虫は夜行性で、クマキコブシなどの樹液に集まり、幼虫は腐葉土や糞から作り木などを食べ成長する。元々は北海道に生息していたが、秋らかい行木などを食へ成長する。元々は北海道に生息していたが、



カブトムシ
コウチエウ目トカラムシ科

バッタ・コオロギ

※様々な目、科がある



バッタ：昆虫の中でも特に後ろ脚が大きく発達していて、体長の数十倍もの距離をジャンプすることができる。大あごが発達し、草を餌とするため、草むらに多く生息する。

コオロギ：きれいな音を奏でる虫。体は茶色や黒が多く、バッタなどに比べ体の柔軟性があり頭さえ通れば、その隙間を通り抜けてしまう。

【よく見られる種類】
ショウリョウバッタ：緑色の体で頭が尖っている。体はスリム草などに隠れるのが得意。
ミカドフキバッタ：緑色の体に仮面ライダーのような顔。一生を終えるとき、蓋を抱くように終える。
エンマコオロギ：茶褐色に黒が混ざった体。目の周りの模様がエンマ様が怒った顔に見えるのが名前の由来。

【よく見られる場所】



クワガタ

※様々な目、科がある

カタツムリ

※様々な目、科がある



カタツムリ：雨の日や湿度の多い陸に住む巻貝の一種。実はカタツムリという名前は一般的な総称で、様々な種類に分かれている。また、殻のない種をおおまかに「ナメケジ」、殻のある種を「テンデムシ」や「マイマイ」と呼ぶ。水域を超えて繁殖が難しいため、種類が多いと考えられている。

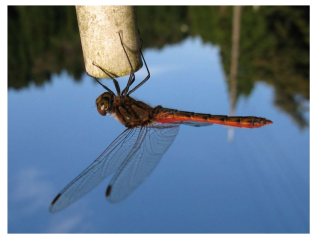
【見ることができる種類】
サッポロマイマイ：殻が茶色と白の縞模様。コンクリート面や高いところを好む。
エソマイマイ：殻を振り回して敵を倒す。殻を黒く固めて敵を倒す。黄色や茶褐色の殻で暗い場所を好む。
オカモノアラガイ：全身がベージュで、乾燥に弱い。

【よく見られる場所】



トンボ

※様々な種類がある



トンボ：幼虫は水生昆虫として生活し、成虫は陸生昆虫として生活する。羽化の時期は3〜7月(アサギトンボは6年)にも達し、昆虫として最も長い。寿命が長い。【見ることができる種類】



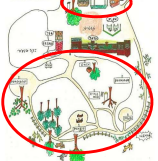
ミヤマクワガタ：黄色い腹が特徴的になり、クマキコブシと特徴的な差がある。クマキコブシは、足の色が黄色い模様が広がる。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。

オニヤンマ：特徴：日本最大のトンボで、他のトンボより目が大きい。また、クマキコブシに黄色い腹がある。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。

クワガタトンボ：特徴：成虫が特徴的で、黒と赤の模様が広がる。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。

アキアカネ：特徴：一般的に赤と黒の模様が広がり、お腹が赤く目が大きい。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。

クワガタ：特徴：成虫が特徴的で、黒と赤の模様が広がる。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。クマキコブシは、クマキコブシと比べて、黒い模様が広がっている。



【見ることができる場所】
エヒルセミ 5月〜7月
コヒルセミ 7月9日
エヒルセミ 7月8日
アサギトンボ 7月8日
アサギトンボ 7月8日
クマキコブシ 7月8日



クマキコブシ科
クマキコブシ



たきのしぜんがくえん
滝野自然学園
札幌市南区滝野106
TEL: 011-591-8780
FAX: 011-591-9401



たきのしぜんがくえん 滝野自然学園

いのものがん
生き物図鑑
Takino Nature School
Animal Encyclopedia

むしへん 虫編

Insect Edition

